

2026 年度 国民スポーツ大会スポーツクライミング競技 埼玉県代表選手選考基準

2026 年 3 月 15 日

(一社)埼玉県山岳・スポーツクライミング協会

埼玉県代表選手を選考する最終的な権限は、(一社)埼玉県山岳・スポーツクライミング協会(以下『本協会』という。)が有する。選手を選考は、以下の基準に基づき本協会強化委員会が推薦し本協会理事会で承認する事で決定する。

1 選考方針

- ・ 行動規範を重視し、埼玉県を代表するに相応しい選手を選考する。
- ・ 関東ブロック大会を通過し、本国スポ(*1)でも上位入賞の可能性が高い選手の組み合わせを重視する。
- ・ リード、ボルダー共にバランスよく取り組む選手を選考する

2 前提条件

- ・ JSP0(*2)の定める国スポ参加資格を満たしている者。
- ・ JMSCA(*3)に2026年度選手登録している者(A登録B登録は問わない。)
- ・ 第19回コバトンボルダリングカップ並びに第27回リード KAZO クライミングカップ(以下『県予選』とする。)両大会に出場し埼玉県代表を希望する者。

3 選考方法

(1) 県予選の順位点に基づき選考する。

県予選エキスパートカテゴリーに出場している選手のうち、成年、少年の各種別ごとのボルダーとリードの順位点の加法にて計算を行う。ただし、上記「2 前提条件」に該当しない選手の順位を除く。また成年と少年の順位は区別する。

注 順位点とは、順位が単独の場合は順位と同じ値、同着が複数人いる場合は平均順位点の値のことである。

① 県予選の順位点の合計が小さな選手

(例)	ボルダー	リード	合計順位点	代表権
A	1位	2位	3	正代表
B	3位	1位	4	正代表
C	2位	3位	5	予備登録

*順位点の合計がより小さなAとBを正代表として選出する。

② ①で同点の場合、より小さな順位点を有する選手

(例2)	ボルダー	リード	合計順位点	代表権
A	1位	3位	4	正代表
B	2位	2位	4	予備登録
C	3位	1位	4	正代表

*合計順位点は同点だが、より小さな順位点を有するAとCを正代表として選出する。

- ③ ②で同順位の場合、県予選の予選ラウンドの順位点の合計が小さな選手
- ④ ③で同点の場合より小さな予選ラウンドの順位点を有する選手
- ⑤ 上記で決定しない場合、IFSC（＊４）及びJMSCA主催の大会成績を勘案し（ただし、早生まれなどで選手権などに参加出来ていない選手の実績なども考慮）、本協会強化委員会で協議の上、総合的に判断して選考する。

(2) JSP0の定める2026年度「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例処置」の対象者（スピード種目を除く）は、以下の条件で選考を行うものとする。

①県内予選会に出場する場合

- ・一般の予選会出場選手と同じ条件で順位を競うものとする。
- ・国スポ代表選手選考にあたり2種目合計の順位点で県内予選会出場選手と（１）②までで同着の場合は、特例対象選手を上位として選考する。

②県内予選会に出場できない場合

- ・国スポへの出場意思を示すため、予選会へのエントリーは必須とする。
- ・県予選会と期日の重複する国際大会（県予選会と同種目、または同種目を含む大会）に日本代表として出場したときのみ、以下の条件を適用して選考する。
 - ・県予選会1位と同じ順位点を与える。ただし県内特例対象選手複数名が出場の場合は上位選手から1位、2位、3位の順で順位点を与える。
 - ・なお国スポ代表選手選考にあたり2種目合計の順位点で県内予選会出場選手と（１）②までで同着の場合は、特例対象選手を上位として選考する。
- ・国際大会と期日重複（移動日を含む）の無い県内予選会は出場を必須とする。

＊１ 国民スポーツ大会

＊２ 公益財団法人日本スポーツ協会

＊３ 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

＊４ 国際スポーツクライミング連盟

4 選考人数

成年男子、成年女子、少年男子、少年女子の各種別正代表2名ずつ。必要に応じて、各種別予備登録選手1名ずつ

5 倫理規定の遵守

代表選手並びに強化選手に選考された選手は、本協会の『倫理規定』を遵守するものとし『倫理規定』に違反のあった場合は『処分規定』により認定の取り消し等の処分もある。